

2. 現況および課題の把握

(2) 現況確認

① 基礎データ

ア 滞在人口

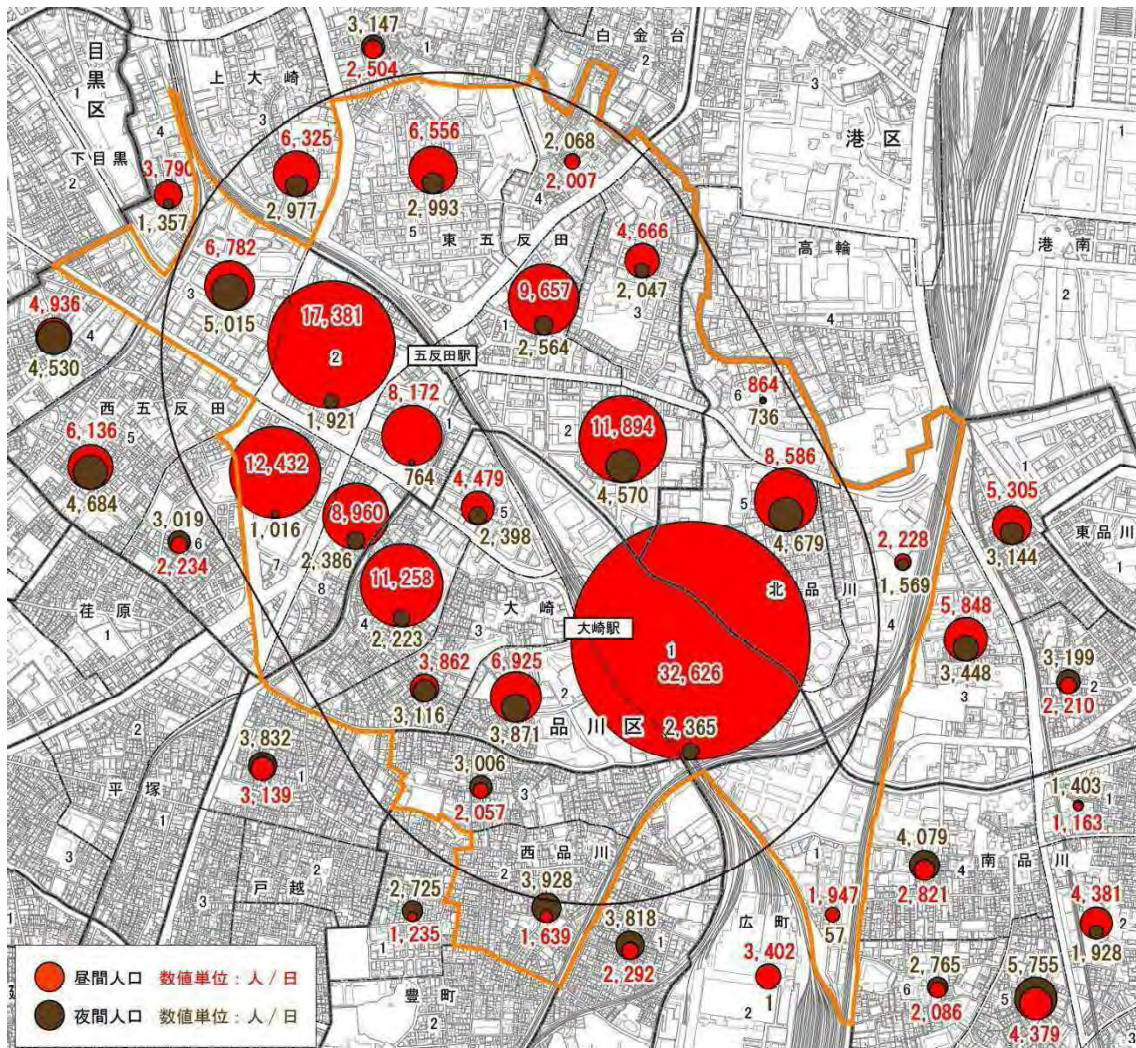
a. 昼間人口、夜間人口の比較

大崎駅周辺地域の町丁目の昼間人口と夜間人口は、以下のとおりである。

(特性)

- ・ 昼間人口は、大崎駅周辺の大崎1丁目や東五反田2丁目、五反田駅周辺の西五反田2丁目や東五反田1丁目のほか、大規模商業施設や大学のある町丁目に集中している。
- ・ 夜間人口は、駅に隣接する町丁目よりも駅から少し離れた町丁目のほうが多い。
- ・ 避難所は区民を対象としており、夜間人口をベースに計画が設定されている。
- ・ 夜間より日中に発災した場合、多くの滞留者や帰宅困難者が行き場を失うことが想定されるため、昼間人口が集中する駅周辺での対策が特に必要と考えられる。

図表 19 町丁目別昼間人口¹¹および夜間人口¹²分布¹



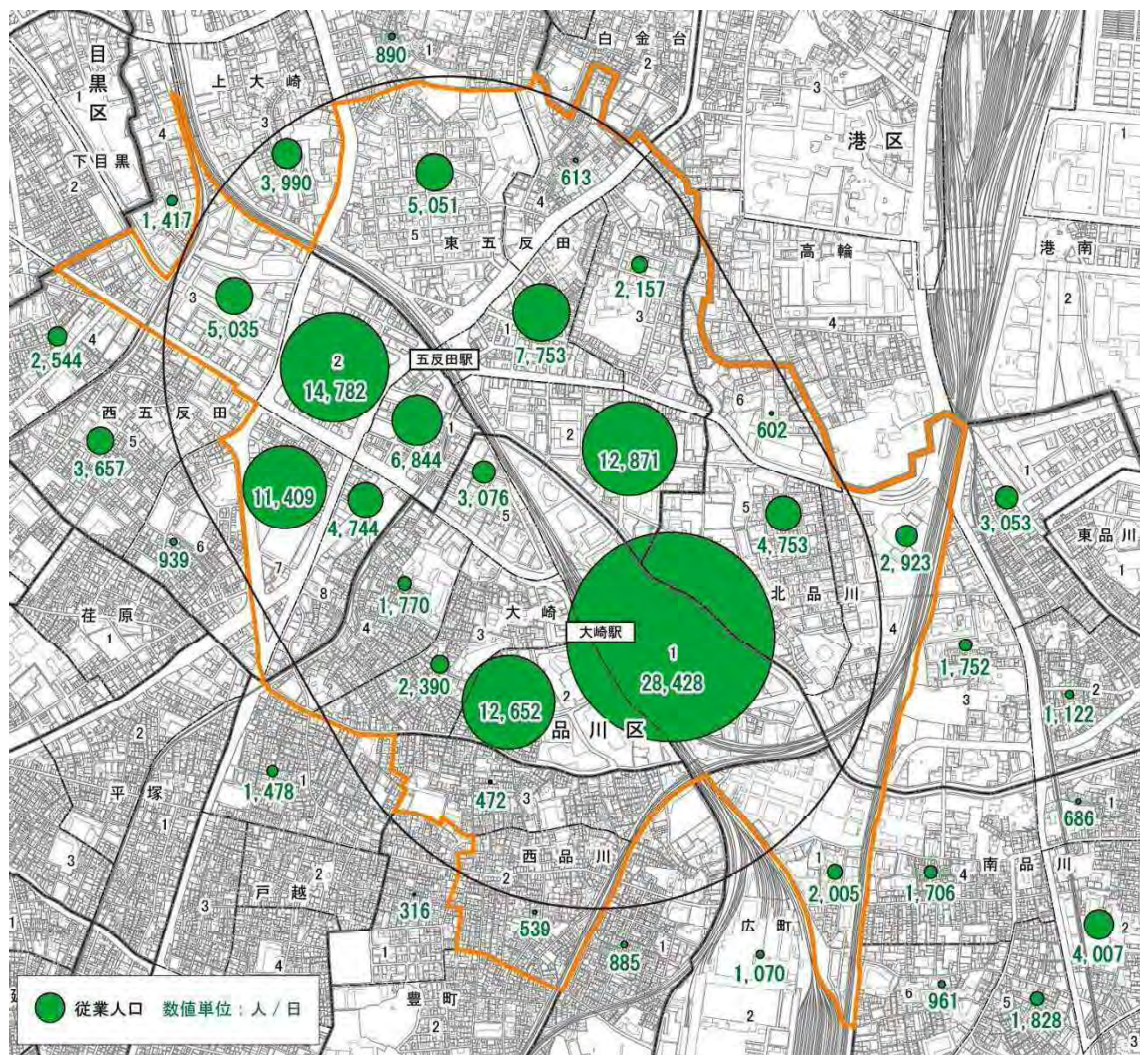
b. 従業人口の分布

大崎駅周辺地域における従業人口の分布は、以下のとおりである。

(特性)

- ・ 従業人口は、大崎駅周辺の大崎1、2丁目、東五反田2丁目、五反田駅周辺の西五反田2丁目、大規模な商業施設のある西五反田7丁目が多い。
- ・ これらの従業人口が滞留者、帰宅困難者とならないよう、事業所による自助および共助の取り組みが求められる。

図表 20 町丁目別従業人口¹³分布¹



2. 現況および課題の把握

c. 来訪者数

災害発生時に調査対象地域を訪れている買い物客や観光客等の来訪者数の把握については、以下の統計を利用した。

東京都市圏内からの流入者については、最新の第5回平成20年東京都市圏パーソントリップ調査（調査時期：平成20年（2008年）10月～11月）を利用した。

東京都市圏外からの流入者については、首相官邸「まち・ひと・しごと創生本部」による「地域経済分析システム（REASAS）」（平成27年4月21日より供用開始）¹⁴の情報を利用した。

【東京都市圏内からの流入者について】

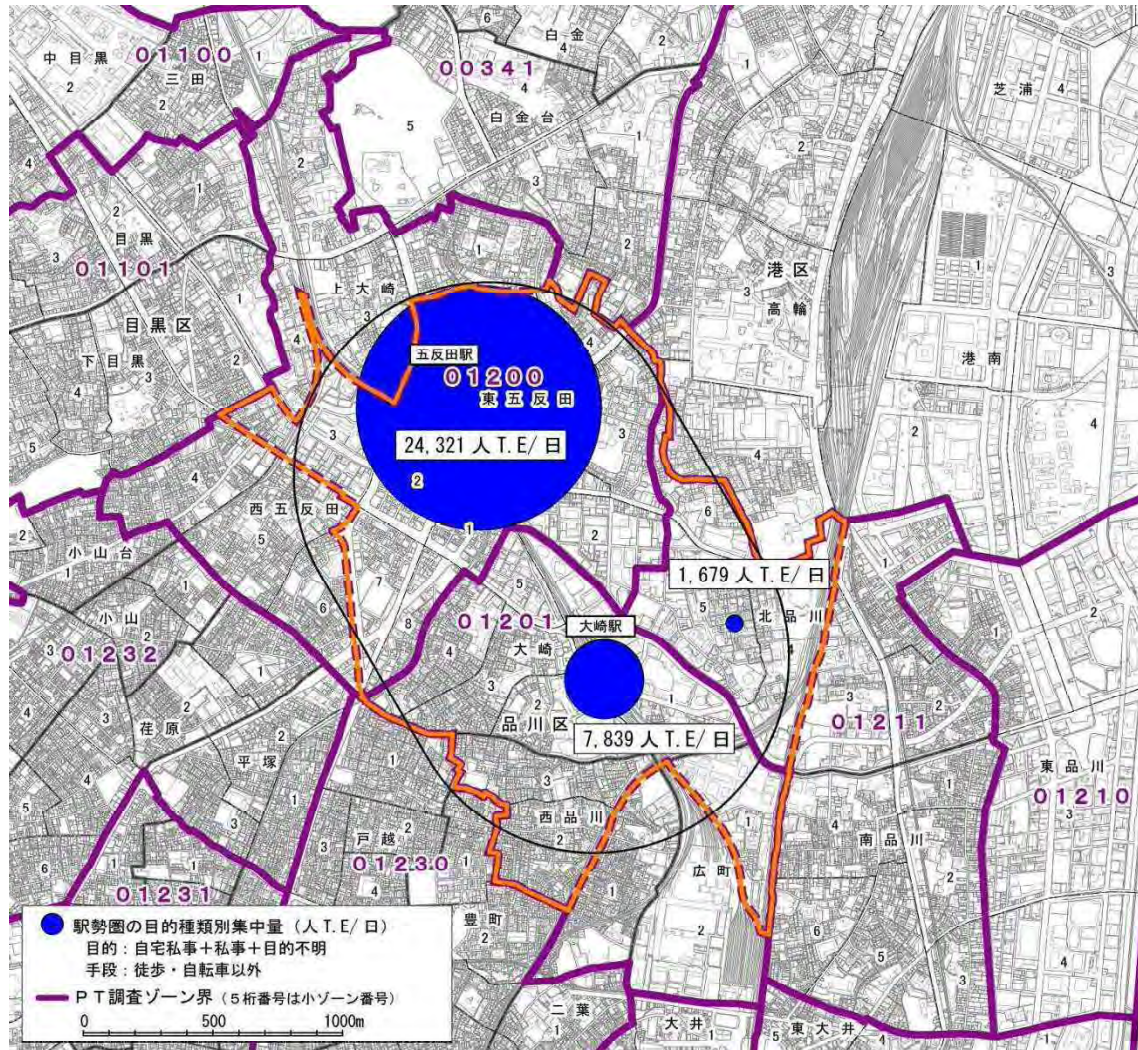
平成20年東京都市圏パーソントリップ（PT）調査¹⁵における、大崎駅周辺地域の着目的別集中量は以下のとおりである。PT調査ゾーンのうち大崎駅周辺地域の対象町丁目分の集中量を抽出するため、ゾーン全体の集中量を昼間人口比率で按分した。集中量のうち、着目的が「A自宅ー私事」、「B私事」、「C不明」を流入者とした。なお、集中量の集計にあたって、代表交通手段が「徒歩・自転車」のものは、ゾーン内移動（＝流入者ではない）と考え除外している。

図表 21 大崎駅周辺地域における流入者数の整理

PT 調査 ゾーン	町丁目	着目的： 目的種類別集中量（人 T.E/日）									
		自宅ー 勤務	自宅ー 通学	自宅ー 業務	A 自宅ー 私事	帰宅	勤務・ 業務	B 私事	C 不明	計	A+B+C 流入者 計
大崎駅周辺地域											
01200 (一部)	東五反田1～5 西五反田1～3 西五反田7～8	51,602	4,107	3,531	8,326	16,623	15,359	14,401	1,593	115,543	24,321
01201 (一部)	大崎1～5 広町1 西品川2～3	47,002	4,764	2,759	1,728	11,934	10,927	5,276	835	85,226	7,839
01211 (一部)	北品川4～6	6,975	552	478	470	4,160	1,558	1,051	158	15,402	1,679
大崎駅周辺地域計		105,580	9,423	6,768	10,524	32,717	27,844	20,729	2,586	216,171	33,839
品川区計		271,353	24,477	18,468	34,905	179,777	74,857	64,111	9,773	677,721	108,789

以上より、大崎駅周辺地域における流入者の推計値は、計33,839人である。また、品川区全体に占める大崎駅周辺地域の流入者の割合は、 $6,158 \div 108,789 = \text{約}31.1053\%$ である。

図表 22 対象町丁目内のPT調査における集中量（流入者）¹



- ・ 私事、目的不明の来訪者は、大崎駅側に比べて五反田駅側の方が多く、3倍近い人数となる。大崎駅側も、平成20年以降、大規模開発が進行しているため、現在は人数が増加していることが予想される。

2. 現況および課題の把握

【東京都市圏外からの流入者について】

「地域経済分析システム（RESAS）」の「観光マップ」は、携帯電話の位置情報を利用して、人の移動を視覚化したものである。

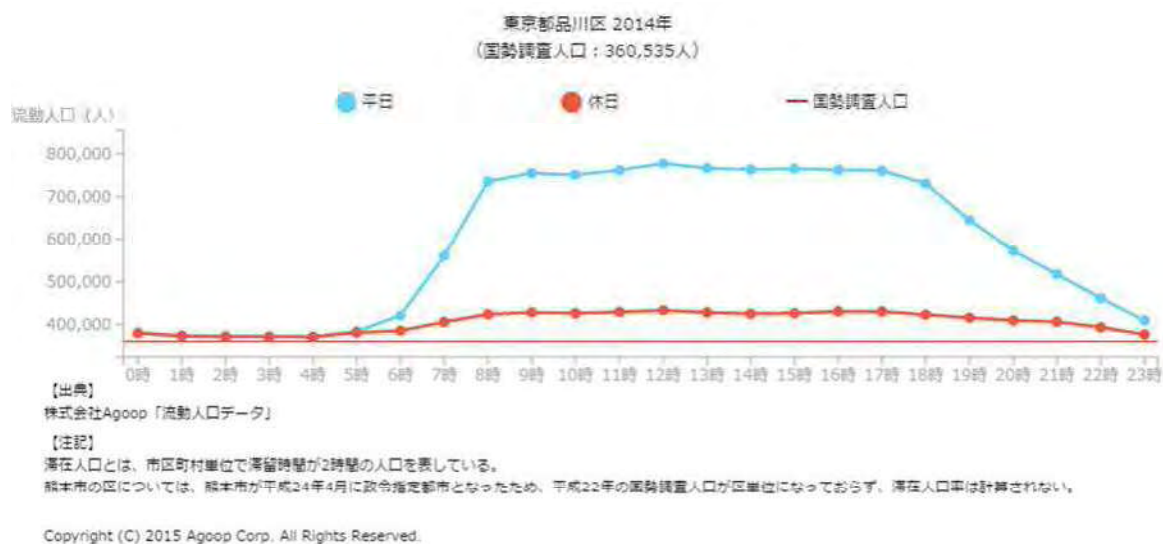
品川区内の滞在人口の時間別推移や出身地別滞在人口等のデータを用いて、東京都市圏外からの流入者について、以下のとおり整理した。

■品川区内の流入者

品川区内の滞在人口が最大となる時間帯は、以下のとおりである。

平日12時台：778,100人

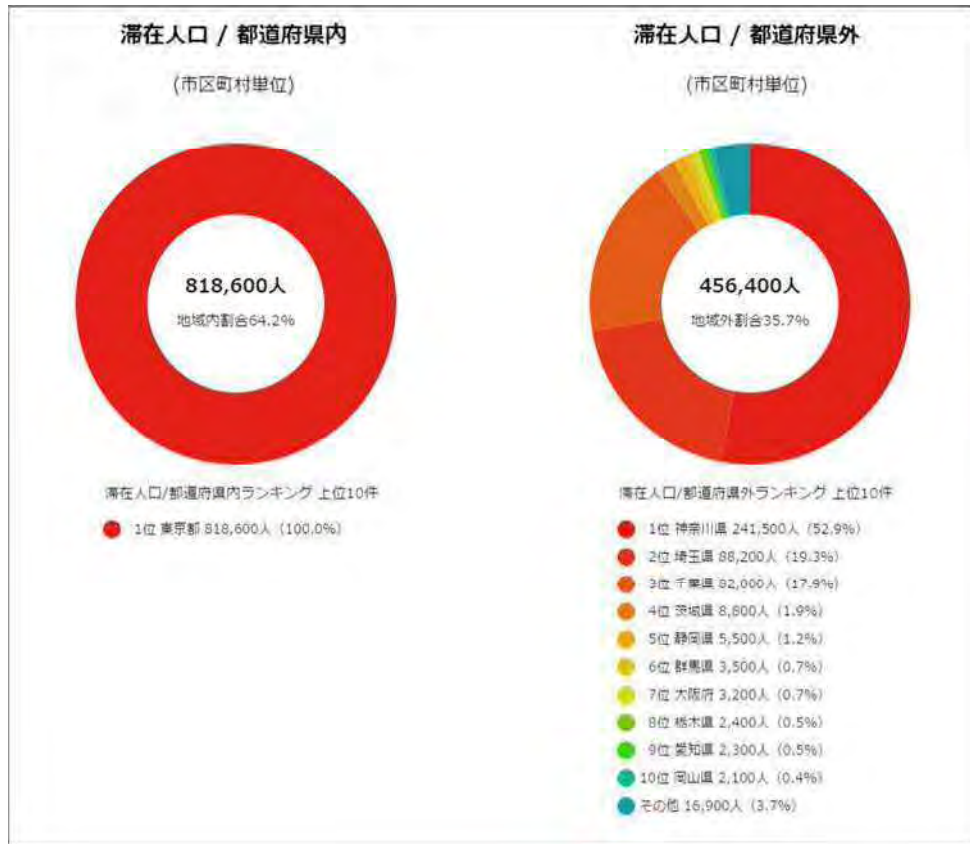
図表 23 品川区内滞在人口の時間別推移¹⁶



なお、「首都直下地震等における東京の被害想定」において、被害想定
条件とされる平日18時台の滞在人口は731,300人である。

1日を通じての滞在者数（出身地別）は、以下のとおりである。

図表 24 出身地別滞在人口¹⁶



図表 25 品川区内における滞在人口の内訳

	在住地				
	都道府県内	都道府県外			
	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他 (東京都市圏外)
滞在人口	818,600人	241,500人	88,200人	82,000人	44,700人
計	818,600人	456,400人			
合計	1,275,000人 (1日延べ人数)				
東京都市圏外出身者が占める割合：44,700人／1,275,000人＝約3.50588%					

以上により、平日12時台、品川区内における東京都市圏外からの流入者数は、以下のとおりである。

$$778,100人 \times 3.50588\% = 27,279人$$

大崎駅周辺地域に滞在する人の割合は、前項の品川区全体に占める大崎駅周辺地域の流入者数の割合（約31.1053%）を用いると8,485人となる。

2. 現況および課題の把握

d. まとめ

大崎駅周辺地域における滞在人口の特性について、以下のとおり整理した。

【昼間人口、夜間人口の比較】

- ・昼間人口：164,978人（対象地域内）
 - ・夜間人口：53,292人（対象地域内）
- ⇒昼間人口は、大崎駅周辺の大崎1丁目や東五反田2丁目、五反田駅周辺の西五反田2丁目や東五反田1丁目のほか、大規模商業施設や大学のあ
る町丁目に集中している。
- ⇒夜間人口は、駅に隣接する町丁目よりも駅から少し離れた町丁目のほう
が多い。
- ⇒区民を対象とする地域避難所は、夜間人口をベースに避難計画人口が設
定されている。
- ⇒夜間より日中に発災した場合、多くの滞留者や帰宅困難者が行き場を失
うことが想定されるため、昼間人口が集中する駅周辺での対策が特に必要
と考えられる。

【従業人口の分布】

- ・従業人口：130,869人（対象地域内）
- ⇒大崎駅周辺の大崎1、2丁目、東五反田2丁目、五反田駅周辺の西五反
田2丁目、大規模な商業施設のある西五反田7丁目が多い。
- ⇒これらの従業人口が滞留者、帰宅困難者とならないよう、事業所による
自助および共助の取り組みが求められる。

【来訪者数の推計】

- ・東京都市圏内からの流入者数：約33,839人（対象地域内、推計）
 - ・東京都市圏外からの流入者数：約8,485人（対象地域内、推計）
- ⇒東京都市圏内の流入者数は、品川区全体の約31%と推計された。
- ⇒業務・商業を初めとして多様な施設が集積する五反田駅周辺の他、大規
模商業施設の立地する駅から距離があるエリア（西五反田8丁目、大崎
広小路駅付近）においても、来訪者が多い可能性が高いと推測される。
- ⇒大崎駅側についても、近年の開発進展により、来訪者が増加している可
能性が考えられる